

持続可能な原子力災害復興のための 移住者・帰還者の 共生的コミュニティ創生 を目指したネットワーク構築

原発事故の被災地の復興には、避難された住民が帰還されること、そして移住・定住する住民が安定して暮らすことが重要な課題です。そしてそのためには、両者が手を取り合って共にコミュニティを築いていく必要があります。

そこで、私たちは令和4年度より移住者の方を対象とした調査を行ってきましたが、これまでの調査結果を踏まえ、今後はさまざまなタイプの移住者の方に焦点をあてた調査や、流動的・長期的な調査、そして帰還者の方と共生する被災地の復興の足跡を追う調査が必要と考えています。そして、調査の結果を移住者支援・被災地支援、そのネットワーク構築に役立てていきたいと考えています。



ご興味・ご関心のある方は、ぜひお気軽にご連絡ください。

コミュニティ
への参加観察

支援組織・団体・専門家の
ネットワーク

個別
インタビュー

支援フレームワークの
拡充

アンケート
調査

これまでの研究事業の報告や提案内容については、右のQRコードから被災地コミュニティの形成に向けた心のケアフレームワーク2024年度版をご覧ください。その他のお問い合わせについては、下記ご連絡先までお願いいたします。

福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座

メール：d-kokoro@fmu.ac.jp

電話：024-547-1887



本取り組みは、環境省の令和7年度放射線健康管理・健康不安対策事業（放射線の健康影響に係る研究調査事業；主任研究者：前田正治）のもとで実施されております。